高度衛生管理型荷さばき所設備の機能保全（点検）

（一社）漁港漁場新技術研究会
衛生管理研究部会

目次

１．衛生管理研究部の紹介

２．高度衛生管理型荷さばき所設備の機能保全（点検）の目的

３．資料の内容
漁港施設の老朽化とは
老朽化による劣化を起きにくくするには
（１）床の老朽化による劣化状況と発生するリスク
（２）劣化を発見するための点検項目・点検方法
（３）管理者が実施可能な対策
（４）専門業者の実施が必要な対策

1．衛生管理研究部会の紹介

○概要

当研究部会は、「施設・設備専門部会」と「水処理専門部会」の2つの専門部会から構成され、漁港・荷さばき所における衛生管理に関する調査研究と技術開発を行い、その施策実施への提案を行っています。

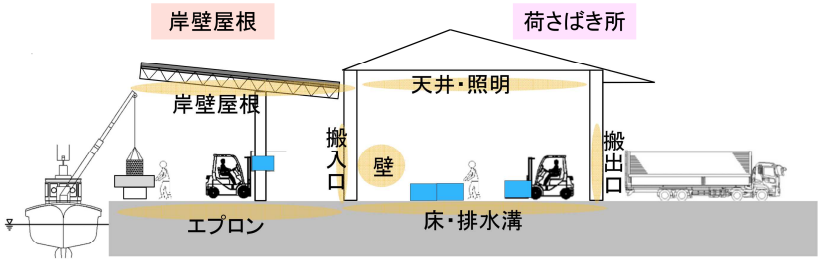
○活動内容

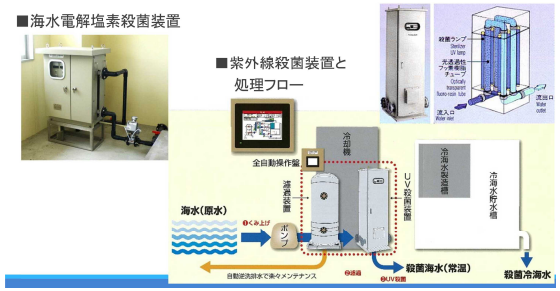
① 荷さばき所の衛生管理に関する計画、設計、施工、運営に活用できるマニュアル・手引き等の作成と発行。

② 先進的な品質・衛生管理型荷さばき所等の現地調査等を通じた技術の研鑽と新たな課題の研究。

③ 品質・衛生管理型漁港づくりを進める産地市場への技術提案とサポート。

Q＆Aにて解説する荷さばき所の構造と付帯施設





水性硬質ウレタン系の床仕上げ材の施工事例

平滑な床仕上げ　作業者の滑り対策は靴にて実施

２．高度衛生管理型荷さばき所設備の機能保全（点検）の目的

整備された施設・設備を適切に運用、長く安全に使用頂くために、施設を管理する人を対象に点検をした方がよい項目と補修方法を紹介することで、施設の維持管理更新等をスムーズに行えるようにする。
専門業者が行う対策についても紹介することで、対策すべきポイントを理解頂く

・対策についてＱ＆Ａを活用

Q3　品質・衛生管理対策のポイントを教えてください。

A3　水産物の安全性を確保するために、食中毒防止の4原則「持ち込まない」、「つけない」、「増やさない」、「なくす」を確実に実行することが必要。

1.「持ち込まない」に関して必要な対策
- 汚染される恐れのある区域での栽培、漁獲、採捕は避け、安全で良質な水産物を陸揚げする
- 鳥・犬・猫・ネズミ等の小動物や昆虫類からの汚染を防止するためにこれらの浸入を防ぐ
- 汚染された海水等は使用せずに清浄海水を使用する
- 人や車両等の入場において適切な対策をとる　等

2.「つけない」に関して必要な対策
- 水産物を床に直置きしない
- 水産物に触れる可能性のある容器・器具、パレット等の洗浄
- 発生した廃棄物を適切に処理する
- 施設や設備は耐食性を考慮したものとする
等

3.「増やさない」に関して必要な対策
- 荷さばき所内の温度管理
- 施氷
- 冷海水の使用　等

4.「なくす」に関して必要な対策
- 入場者の手指の殺菌消毒
- 長靴等の殺菌消毒
- 使用する容器の殺菌消毒　等

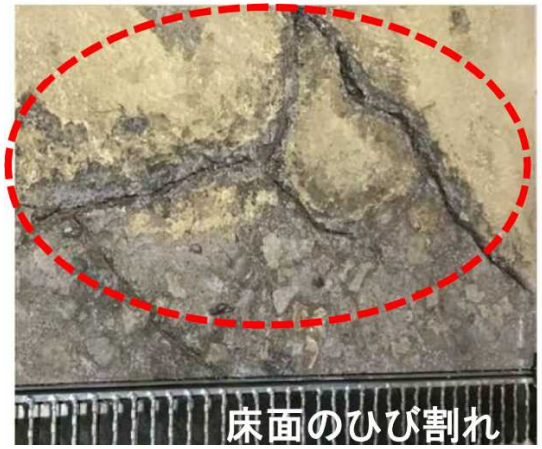
・施設管理者が容易に点検が出来ない設備については
　定期検査の重要性を理解頂く

３．資料の内容

■漁港施設の老朽化とは？どんなリスクがあるの？

※老朽化による劣化の概要、劣化を放置することによる衛生管理面、作業面に対するリスクの概要を説明。

- 床の主な劣化状況は、コンクリート面のひび割れや削れ、仕上げ塗装の剥離等です。
- これらを放置した場合には、段差部分に水が溜まることで虫や雑菌が発生し、その水を人やフォークリフトが跳ね上げることで水産物に付着する等の衛生管理面でのリスクや段差部分をフォークリフトが通行できないあるいは速度を落として走行しなければならない等の作業面でのリスクがあります。



３．資料の内容

■老朽化による劣化が起きにくくするには？

※管理者が日常的に点検を行うこと、点検結果を踏まえた対策を実施することの必要性を説明。

※管理者が点検を行うことが難しい項目については、専門業者に依頼して定期点検を受け、適切に対処することの必要性を説明

適切な専門業者による定期検査を実施せず放置した場合のセンサー劣化例

３．資料の内容

（1）床の老朽化による劣化状況と発生するリスク

●排水側溝・グレーチングに求められる性能とリスク

性能	内容	衛生との関連性
耐荷重性能	側溝・グレーチングの上部を通行する車両・フォークリフトの荷重に耐えることができなければならない。	無し
平たん性	側溝・グレーチングと周囲の舗装の間に段差が無いこと。 積み荷に衝撃がかかり、荷崩れ、品質低下を招くおそれがある。 滞水の原因となり得、虫・細菌などの繁殖を招くおそれがある。	有り
コンクリートの破損耐久性	側溝の地表面部や内面のコンクリート欠損が無いこと。欠損がある場合滞水の原因となり得、虫・細菌などの繁殖を招くおそれがある。	有り
耐塩害性能	グレーチングが塩によって腐食しにくいこと。 腐食劣化によって耐荷重性能の低下・破損を招くおそれがある。 腐食によって生成された錆が錆汁となって床等に影響を及ぼす。 グレーチングと受け部分が錆によって固着し、開閉が困難になる。	有り
がたつき防止	グレーチングが車両通行によってガタガタ動かないこと。	無し
スリップ防止	グレーチング上を通行する車両が滑らないこと。 スリップによる事故を招くおそれがある。	無し

3．資料の内容

(2)劣化を発見するための点検項目・点検方法

・目視
・打診による床仕上げ材の浮き
（具体的な項目と方法）

点検対象	チェックするポイント	点検手法	管理者が点検可能か
コンクリート面	ひび割れがないか	目視	可能
	継ぎ目が削れていないか	目視	可能
	陥没している箇所がないか	目視	可能
床仕上げ材	ひび割れがないか	目視	可能
	剥離がないか	目視	可能
	浮きがないか	打診	専門業者が点検

(3)管理者が実施可能な対策

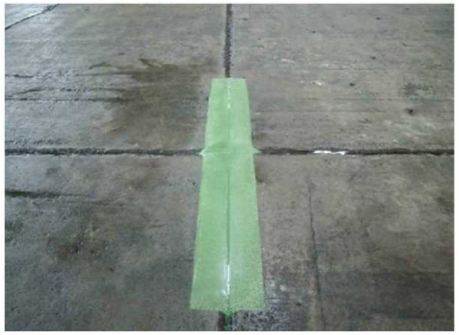
点検対象	チェックするポイント	管理者が対策実施可能な劣化状況	対策方法
コンクリート面	ひび割れがないか	管理者では対応困難	専門業者に連絡する 日常的に〇〇する
	継ぎ目が削れていないか	管理者では対応困難	専門業者に連絡する
	陥没している箇所がないか	管理者では対応困難	専門業者に連絡する
床仕上げ材	ひび割れがないか	ひび割れが小規模 （〇mm程度）	簡易キットでの補修
	剥離がないか	剥離箇所が小規模 （〇m2程度）	簡易キットでの補修
	浮きがないか	管理者では対応困難	専門業者に連絡する

〇管理者による対応例（簡易キットを用いた床仕上げ材ひび割れの補修）

３．資料の内容

（4）専門業者の実施が必要な対策

〇専門業者による対応例（欠損箇所への床材の充填）



部分改修であるが安全性、経済性への効果は大きい
放置しておくと劣化は進行
効率悪化だけでなく事故の発生になる

施工、養生期間の確保
搬送車の詳細
施工時の発塵、臭気の許容
冷凍庫施工時の環境温度
現地確認

適切な材料工法提案は専門業者に依頼